

100億宣言



VARIETY アイエー・フーズの多様な商品



従来のこんにやくに留まらず
「ネクストこんにやく」を創り出し
今後も幅広い商品を展開していきます。

- 本社所在地：群馬県富岡市南蛇井152
- 事業概要：蒟蒻製品、菓子製品、惣菜製品の製造及び販売
- 常時使用する従業員：220名
(グループ全体・2025年2月期)
- 現在の売上高：55.3億円
(グループ全体・2025年2月期)
- 法人番号：4070001012083
- Web：<https://ia-foods.com/>

株式会社アイエー・フーズ（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
鶴田 さゆり

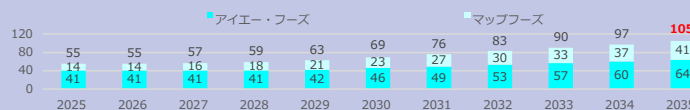
日本から世界のフードカンパニーへ

私たちはずっと「群馬のこんにやく」を誇りに、最前線で製造・販売してきました。かつてはグループで80億円を超えましたが価格競争が激しくなり、思うように進まなくなりました。現状維持は衰退の始まり。私たちは企画力と開発力を活かし、既存品は徹底的に省力化、「ネクストこんにやく」を創り出しながら海外展開も積極的に進めてまいります。地元のこんにやく産業を守りながら、国内外へも挑戦し、グループ一丸で売上100億円を目指します。世界はまだまだ広い。さらに高みへ挑みたいです。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年度のグループ売上100億円達成に向け、海外向けのビーガン商品、国内向けのペースト調味料を核に販路を拡大



課題

- ・国内蒟蒻市場は縮小傾向、物流コスト高騰で粗利益が薄い
- ・ブランド認知と販路網が未整備なため、海外ビーガン市場で自社商品の差別化ができていない
- ・生産作業の効率化が不十分で製造能力を最大化できていない

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 【代替食品開発】日本品質の蒟蒻由来ビーガン製品を高級スーパー・展示会で訴求しブランド認知を獲得
- 【生産性向上・工場増設】既存ラインを省力化・自動化し、少人数で高生産を実現しつつ利益率を改善。工場増設と協力工場拡大で生産キャパシティを確保
- 【高付加価値素材拡大】エビ以外の甲殻類・魚介ペーストを開発し、外食チェーンや冷凍食品メーカーへ展開

実施体制

- ・中国、タイに協力工場拠点あり年間8,000万円を売上、今後も展示会や商談会で差別化した新商品を提案し海外販路を拡大。
- ・2025年9-10月に新たに乾燥機・殺菌機を導入して生産性を向上。マップフーズでは工場を増築し、在庫管理システムを導入。スペース不足を解消することで生産性を向上させる。
- ・試作ラインでホタテ・サバなどのペースト調味料を開発。外食チェーンや冷凍食品メーカー向けに提案し国内販路を拡大。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

アイエー・フーズ

【実現目標】海外ビーガン売上2025年0.8億→2029年2.5億→2031年8億、蒟蒻ゼリー・惣菜で国内売上+10%

【課題】海外認知が低く、中国製競合商品に弱い。国内は市場縮小&原料高騰、生産力に乏しい設備による生産能力の限界

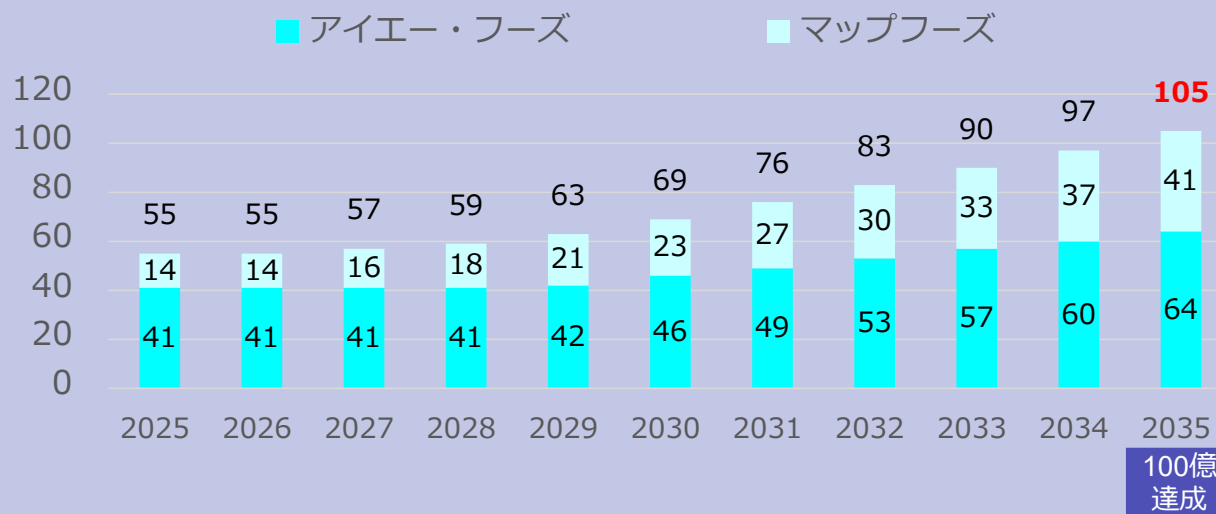
【解決策】展示会出展→高級店販路構築、「伝統×クリーンラベル」訴求、乾燥・殺菌機更新と自動化で生産量10~15%向上、省力化で余剰リソースを新規開発・海外営業に充当させる

マップフーズ

【実現目標】ペースト調味料 売上2025年5.4億→2029年9.3億→2031年13.3億、甲殻類/貝類/魚類ペーストで国内新規販路獲得

【課題】敷地狭小で倉庫と製造が混在、在庫管理不備でロス、既存設備における生産能力不足、人員・システム未整備

【解決策】2027年建物増設（計382㎡）で倉庫と作業を分離し効率化、マスコロイダー導入と人員増で生産能力30%向上、ペースト調味料の販路を外食・冷食・コンビニに拡大



株式会社アイエー・フーズ
蒟蒻製品、菓子製品、惣菜製品の製造及び販売事業

マップフーズ株式会社
液体調味料の製造販売事業

